

# 行政視察報告書

令和7年1月5日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 矢守 昭男

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 観察等名 産業建設常任委員会行政視察研修について
2. 観察期間 令和7年10月29日（水）～10月30日（木）
3. 観察場所及び目的

### ①静岡県掛川市

テーマ 民泊の推進について「空き家の利活用」

### ②愛知県安城市

テーマ 「アグリライフ支援センターをはじめとした農業振興施策について」

③安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」見学

## 4. 調査内容感想等

- ・観察の目的① 静岡県掛川市民泊の推進について「空き家の利活用」
- ・観察内容 事前質問事項

1. 空き家を民泊に転用する際、所有者や地域住民からの理解や協力を得るためにどのような工夫をされていますか。

回答としては、空き家活用モデル事業の実施状況では、補助金額の対象で3分の1で限度額1,000万円の利活用での成果があることから、所有者に対しては負担金0で民泊施設に改装出来ることを強調されて、改修費などをかけがわLBがすべて負担

する代わりに家賃の面で少し譲歩して、地域住民に対して丁寧な対応や挨拶回りまして地域との連携をされています。

2. 民泊運営者への(賃金・手続き・広報など)どのような制度がありますか。

回答については、ランド・バンクでは「民泊のすすめ」という開業マニュアルを作成されて、無料で配布などされて成果を出されています。

3. 民泊利用者の安全や衛生面の確保について、行政としてどのようにチェック・指導を行っていますか。

回答については、今回の質問については県の事業の為、民泊は市の許可でないため、行政としてチェック・指導は行っておりません。

4. 民泊によって地域経済や観光振興にどのような効果が見られましたか。

回答については、かけがわランド・バンクが運営する民泊施設「JOKABASE」は、集団で宿泊施設として周辺のホテルと差別化を図り取組として大都市圏の若者を中心とした利用促進が図られる。

現在、市で補助金の活用で空き家活用モデル事業による民泊による民泊施設の紹介のための、市街地で食事を行うことにより地域活性化が見込まれています。

5. 空き家の利活用として民泊以外に取り組まれている事例があれば教えてください。

回答については、掛川市での17,1パーセントの現状で空家の利活用について9,000件の対応について苦慮している、そうした中での取組について相談対応しておられる。

平成28年8月には掛川市空家等の対策計画策定で特定空家等ゼロのまちを目指して専門組織体制でご近所での連携強化をされています。

かけがわランド・バンク事業によりワンストップ相談窓口での対応で解決されています。

かけがわランドバンクメンバー5団体等により、ふるさと納税還付金活用により運営体制をされています。

- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

NPO法人かけがわランド・バンクが運営で所有者の負担金が0で民泊施設に改装できることは、長浜市では出来ていないので、しっかりとした民泊施設の運営体制についての開業マニュアルの作成や空き家の活用やワーキングスペースの活用により周辺のホテルとの差別化や特に関心を持てた、かけがわLBメンバーによる運営体制で研修・保養施設、短期移住・シェアハウスなど長浜市として参考になる視察研修となりました。今後も市の政策として補助金等でカフェ、文化健康複合施設、里山留学など取組について長浜市の人団減少や高齢化社会の中で財政状況が厳しい中で公共施設の利活用について参考になりました。

視察の目的② 愛知県安城市「アグリライフ支援センターをはじめとした農業振興施策」について

・視察内容 事前質問事項

1. アグリライフ支援センターでの栽培技術研修は、年間どの程度の人が受講され、終了後の農業に携わる方はどれくらいますか。

回答について令和 6 年度研修の野菜づくり入門コースの参加者は49人で春夏野菜づくりコース 25 人と秋冬野菜づくりコース 24 人が受講されていました。

また春夏野菜づくり受講料が2万円と秋冬野菜づくりが1万5千円と市の負担により安価で面積も 1 人1区画(約 30 m<sup>2</sup>)を管理するなど土の活用や残野菜のリサイクルなど様々など取り組みをされていました。

2. 新規就農者の定着を図るために、土地の確保や販売支援はどのように行っていますか。

回答について食料・農業・交流推進事業(市と単独事業)により農用地利用改善組合の自発性と創意が十分發揮され、新たな集落農場の構築や転作の安定化や新規就農者にとって特性を活かした魅力ある地域農業と補助金交付対象で各集落の農用地利用改善組合、改善組合の組合員、市内に所有地を有する農地所有適格法人、あい

ち中央農業組合など連携した推進事業がされています。

3. 高齢化や担い手不足への対応として、安城市ならではの工夫や成果はありますか。  
回答については、安城産業文化公園「デンパーク」の主な取組で農林水産省の農業  
農村活性化農業構造改善事業や地域農業基盤確立農業構造改善事業や愛知県の  
魅力ある愛知づくり事業により平成9年デンパークがグランドオープンして当初は入園  
者累計100万人達成でしたが、令和6年の入園者累計1,500万人と多くの方々お越  
しになっています。そうした工夫を長浜市としての参考事例として進めてまいります。

4. ICT やスマート農業の導入状況と、その効果についてお聞きかせください。

回答について第9期安城市総合計画土地利用構想による令和7年度事業の実施で  
農業イノベーション調査検討する委託料により新たな農業の価値を創出する拠点整備  
を目指して拠点整備をされました。

またネギの刈り取り機の補助金など新たな事業の3,000万円の利用率向上や食品ロ  
ス削減でフードシェアリングサービスの充実など参考となりました。

5. 農業初心者の研修プログラムは、市の単独事業なのか、国や県の支援を組み合  
わせているのかを教えてください。

回答については、市の単独事業では収穫体験として体験農園で農業に気軽に親しん  
でもらう機会を創出するために実施されています。

国、県と連携は下よりJAなどとの連携体制を構築されています。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

特に長浜市として食料・農業・交流推進事業(市と単独事業)により農用地利用改善組  
合の自発性と創意が十分發揮され、新たな集落農場の構築や転作の安定化や新規  
就農者にとって特性を活かした魅力ある地域農業と補助金交付対象で各集落の農用  
地利用改善組合、改善組合の組合員、市内に所有地を有する農地所有適格法人、あ  
いち中央農業組合など連携した推進事業がありましたが、長浜市として高齢化に伴う  
耕作放棄地問題、集落営農組織、各JA組合との連携体制で初心者向けの農業従事

者育成など課題解決に向けた取組として参考となる視察研修となりました。

・視察の目的③

安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」見学

旧病院の跡地を利用したリノベーションされた多目的ホールでは地元企業や地元の方々がマルシェ、占い、カフェ、お土産など販売されていました。

また 2 階以降は病院跡地を活用として図書館の電子図書館など利用促進に繋がる跡地を活用で成果を出されていました。長浜市においても公共施設の多目的な利用促進に繋がる見学となりました。